

岡山県吉備中央町でのPFAS検出を巡る経緯

10月17日	吉備中央町が2021、22年度の検査で円城浄水場の水から国の暫定目標値の最高で28倍に当たる濃度のPFASが検出されていたと発表
19日	町が20年度の検査でも目標値の16倍のPFASが検出されていたと発表。県には虚偽報告をしていたと明らかにした
24日	町が健康相談窓口を開設
25日	円城浄水場周辺で行われた県の水質調査で、取水先の河平ダムの上流で目標値の74倍のPFASが検出されたことが判明
30日	町が原因究明や風評対策などを検討する外部有識者らによる専門部会を設置したと公表
11月2日	町が案田配水池の水から国の基準値を超える塩素酸が検出されたにもかかわらず県への報告を怠っていたと発表
10日	県が円城浄水場に流入する沢の最上流部で目標値の1240倍のPFASが検出されたと発表。近くの資材置き場に活性炭入りのフレコンバッグ約300個が置かれ、最高で目標値の6倍超となるPFASを確認
14日	町が特産の白菜とふるさと納税返礼品の米を検査し、いずれもPFASが検出されなかったと公表